

# Taketa City Gikai News

No.40

平成27年11月1日発行

たけた 市議会だより

|                 |       |
|-----------------|-------|
| ●予算特別委員会        | 2     |
| ●議案・請願・陳情等の議決結果 | 3     |
| ●一般質問           | 4~9   |
| ●行政視察報告・お知らせ    | 10~11 |
| ●県体報告           | 12    |



奥豊後の踊りを楽しむタベ・岡城大会



第3回定例会

# 予算特別委員会

平成27年度一般会計補正予算 10億627万5千円増額  
(総額197億6,202万円に) 可決

平成27年第3回定例会・予算特別委員会が9月15日・25日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

## 【補正予算の概要】

### 【歳出】

#### ◆総務費

平成26年度決算剰余金処理による基金積立金 7億5,000万円

#### 《内訳》

|                           |           |
|---------------------------|-----------|
| ・財政調整基金積立金                | 2億5,000万円 |
| ・減債基金積立金                  | 2億円       |
| ・公共施設等総合管理基金              | 2億5,000万円 |
| ・地方創生基金<br>(旧名称:町づくり文化基金) | 5,000万円   |
| 移住・定住促進啓発事業               | 500万円     |

#### ◆民生費

障害福祉費国庫負担金等返納金 2,716万4千円  
生活保護費国庫負担金等返納金 4,996万6千円

#### ◆衛生費

医療機関等新規開設促進事業 1,000万円  
(耳鼻咽喉科開院に係る建物・医療機器整備費用の助成)

#### ◆農林業費

次世代を担う園芸産地整備事業 △5,069万9千円  
火山活動降灰対策事業 5,255万7千円  
肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業 1,155万円  
農地耕作条件改善事業 2,900万円  
農業基盤整備促進事業 △2,410万円

#### ◆商工費

空き店舗活用促進・開業支援事業に係る調査等業務委託料 250万円

#### ◆土木費

市道維持補修工事請負費 2,000万円  
農村回帰ニュータウン建設事業 358万2千円

#### ◆消防費

無線局定期検査業務委託料 35万7千円

#### ◆教育費

文化会館管理運営基本計画 629万1千円  
策定業務委託料

#### ◆災害復旧費

文教施設災害復旧費 539万7千円  
(岡城跡)

### 【歳入】

平成27年度普通交付税 1億5,713万8千円  
(額確定に伴うもの)  
国庫支出金 2,076万6千円  
県支出金 1,698万7千円  
繰越金 8億6,677万1千円  
市債 6,305万6千円  
繰入金 △1億2,305万5千円

# 平成27年 第3回定例会

平成27年9月3日～25日  
議案・請願・陳情等の議決結果

議  
決  
結  
果

| 条例案      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
|----------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|
| 議案番号     | 件 名                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 結果     |
| 議案第 97号  | 竹田市特定個人情報保護条例の制定について                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 98号  | 竹田市コミュニティバス運行条例の一部改正について              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 99号  | 竹田市基金条例の一部改正について                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 100号 | 竹田市手数料条例の一部改正について                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 101号 | 竹田市荻福祉健康エリア条例の一部改正について                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 102号 | 竹田市直入保健福祉センター条例の廃止について                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 103号 | 竹田市職員の再任用に関する条例等の一部改正について             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 予算案      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 議案番号     | 件 名                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 結果     |
| 議案第 90号  | 平成27年度竹田市一般会計補正予算（第2号）について            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 91号  | 平成27年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算（第1号）について     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 92号  | 平成27年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算（第2号）について   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 93号  | 平成27年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 94号  | 平成27年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 95号  | 平成27年度竹田市介護保険特別会計補正予算（第2号）について        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議案第 96号  | 平成27年度竹田市水道事業会計補正予算（第2号）について          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 決算認定案    |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 議案番号     | 件 名                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 結果     |
| 認定第 1号   | 平成26年度竹田市水道事業会計決算の認定について              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 認定     |
| 認定第 2号   | 平成26年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 3号   | 平成26年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 4号   | 平成26年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 5号   | 平成26年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 6号   | 平成26年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 7号   | 平成26年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 8号   | 平成26年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 9号   | 平成26年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 10号  | 平成26年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 11号  | 平成26年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| 認定第 12号  | 平成26年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計歳入歳出決算の認定について   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 継続審査   |
| その他案     |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 議案番号     | 件 名                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 結果     |
| 諮問第 1号   | 人権擁護委員候補者の推薦について                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 原案の者適任 |
| 請願・意見書案  |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 議案番号     | 件 名                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 結果     |
| 請願第 3号   | 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出についての請願           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 採択     |
| 意見書案第 2号 | ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 意見書案第 3号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |
| 議会議案     |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 議案番号     | 件 名                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 結果     |
| 議会議案第 2号 | 竹田市議会会議規則の一部改正について                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 可 決    |

## ■賛否一覧表

※賛成・反対の双方あった場合のみ表示しています。

| 議員名(議席番号順) |                       | 佐藤<br>美樹 | 鷲<br>英彰 | 山村<br>英治 | 阿部<br>雅彦 | 渡辺<br>克己 | 岩屋<br>千利 | 徳永<br>信二 | 佐田<br>啓二 | 日小田<br>秀之 | 森<br>哲秀 | 加藤<br>正義 | 吉竹<br>悟 | 本田<br>忠 | 中村<br>憲史 | 和田<br>幸生 | 後藤<br>憲幸 | 足達<br>寛康 | 坂梨<br>宏之進 | 審議<br>結果 |
|------------|-----------------------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|---------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|
| 議案番号・件名    |                       |          |         |          |          |          |          |          |          |           |         |          |         |         |          |          |          |          |           |          |
| 陳情第 3号     | 市道馬場恵良原線視界不良の改善に関する陳情 | ●        | ●       | ○        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●         | ●       | ●        | ●       | ●       | ●        | ●        | ●        | ●        | 不採択       |          |

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄

表の見方……○:賛成、●:反対、-:除斥、欠席もしくは棄権

# 市政を問う一般質問

平成27年第3回定例会は9月3日から9月25日までの23日間の日程で開かれました。

9月9日・10日、9人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しております。

吉竹 悟

**農政課長** 現在、地区ごとに捕獲班を編成し活動している。長年、校区単位など限られた地域での活動であったが、捕獲活動の円滑化、強化を目指して平成24年10月に猟友会と市が協

**問 猟友会の活動範囲は。**

のはイノシシで被害の約78%、続いてシカの17%である。最も被害の大きい農作物は水稻で被害額の72%、針葉樹・広葉樹の樹木が10%、飼料作物が8%であつた。昨年のイノシシの有償捕獲数は1097頭、シカは1108頭で、被害額は3539万7千円となつた。5年前に比べ、イノシシは約20倍、シカは約5倍、捕獲されている。電気柵や防護柵の設置に加え、猟友会の献身的な取組で被害は減少している。

**問 猟友会の活動範囲は。**

の報償金を出している。

**問 高森町では対策強化を行い、イノシシ1万4千円、シカ1万8千円の報償金を出している。**



▲防護柵に設置された自動撮影カメラ

**市長** 個体数を減らすことが重要である。国東市など県下9自治体が、猟期中にイノシシ捕獲に対し報奨金を出している。市内では期間中、150頭程の捕獲があり、他市と同様に3

**3千円としてはどうか。**

**問 自然災害に対する竹田市の対応マニュアルで、重点とされているものは何か。**

**総務課長** 災害発生時の職員用マニ

**問 豪雨や地震等の災害に備えての主要防災組織づくりや避難訓練の取組について**



阿部 雅彦

議書を締結し、範囲を市内一円とした。

**農政課長** 山林被害は、主にシカが杉・ヒノキの皮を削ぎ取ることによる立ち枯れで、279万円、クヌギの食害は58万と報告されている。防護柵だけでは、シカは他の山林に移動するので、抜本的な対策は捕獲することである。

**問 山林への被害状況は。また、その対策は。**

方向性を出す。一方で、狩猟者の減少がある方法なのか検討し、早い時期に高齢化についても考える必要がある。銃に関する年間5万円程度の経費がかかると聞く。積極的な予算編成を行い、農家の減収が続かないように真剣に取り組む。国にも全国市長会を通じ対策を要請していく。

その他、介護保険制度について質問した。

00円を出すとなると450万円が必要となる。個体数を減らす最も効果がある方法なのか検討し、早い時期に高齢化についても考える必要がある。銃に関する年間5万円程度の経費がかかると聞く。積極的な予算編成を行い、農家の減収が続かないように真剣に取り組む。国にも全国市長会を通じ対策を要請していく。

00円を出すとなると450万円が必要となる。個体数を減らす最も効果がある方法なのか検討し、早い時期に高齢化についても考える必要がある。銃に関する年間5万円程度の経費がかかると聞く。積極的な予算編成を行い、農家の減収が続かないように真剣に取り組む。国にも全国市長会を通じ対策を要請していく。

アルについては、被害を最小限に抑えるための迅速かつ円滑な対応ができる初動の体制づくりをしている。

また、市民用マニュアルについては、保存版の防災マップを配布し、想定される災害時における行動の注意点や心構えをお示しし、防災意識の高揚に努めている。

**問 市民が取り組む自主防災組織づくりや避難訓練に対する市の基本姿勢はどのようなものか。**

**総務課長** 自治会単位のみならず、地区全体での取組ができるよう努めたい。また、各地域の防災士の皆さんと連携し、災害避難カードを作成して、要支援者等の援護を中心とした命を守れる取組を進めていきたい。



▲防災マップ

## 本庁と支所の機能について

**問 合併後の本庁と三つの支所を拠点とする行政運営をどのように捉えているか。**

**総務課長** 合併によるスケールメリットを生かし、行財政改革を中心とした簡素で効率的な行政運営に取り組むと同時に、市民との距離が遠くならないように心掛けている。

**問 支所のある地域の市民の意思表明や意思決定について、今後の市政にどのように生かしていくのか。**

**総務課長** 支所のあるそれぞれの地域に根ざした市民サービスに取り組み、市全体の均衡ある発展を目指していきたい。

## 新文化会館建設に関わる周辺整備について

**問 文化会館周辺の河川整備については、竹田土木事務所にどのような要請をしていくのか。**

**建設課長** 文化会館や玉来ダム建設工事の進捗状況を見ながら、竹田土木事務所との協議をしていきた

徳永 信一



## 竹田市水道事業計画について

**問 災害に備え、荻地域のライフルインである水道水に、安全で効率的な水源地を確保しては。**

**水道課長** 県には事業内容を提出し補助金の内示を待っている。今年度は、桑木地区の城ヶ原を中心に電気探査調査を実施し、試掘場所を選定してテストボーリングをする。水源確保ができれば、桑木配水池への用水供給を行う。

**問 上水道事業と簡易水道事業の統合を含め、竹田市水道事業計画を今後どのように進めて行くのか。**

**水道課長** 上水道に比べ、簡易水道は延滞金も多く、最低料金で比較すると上水道864円、簡易水道540円となつておおり、統合に向けた課題は多い。現在、簡易水道事業計画を策定しており、今後の水道ビジョンに対しても検討を行っている。また施

| 竹田市水道事業の現況(平成26年度) |               |                                  |               |                                  |
|--------------------|---------------|----------------------------------|---------------|----------------------------------|
| 水道事業名              | 計画給水人口<br>(人) | 計画1日最大給水量<br>(m <sup>3</sup> /日) | 現在給水人口<br>(人) | 実績1日最大給水量<br>(m <sup>3</sup> /日) |
| 竹田市上水道事業           | 10,700        | 6,000                            | 7,086         | 4,396                            |
| 妙見瀬ノ口簡易水道事業        | 370           | 160                              | 205           | 74                               |
| 下片ヶ瀬簡易水道事業         | 210           | 99                               | 118           | 47                               |
| 戸上簡易水道事業           | 124           | 141                              | 79            | 55                               |
| 松本簡易水道事業           | 546           | 235                              | 397           | 134                              |
| 荻簡易水道事業            | 3,900         | 2,300                            | 3,027         | 1,556                            |
| 久住簡易水道事業           | 1,360         | 550                              | 1,045         | 490                              |
| 都野簡易水道事業           | 900           | 550                              | 749           | 825                              |
| 白丹簡易水道事業           | 200           | 110                              | 201           | 121                              |
| 直入中央簡易水道事業         | 1,300         | 685                              | 857           | 520                              |
| 泉木簡易水道事業           | 212           | 106                              | 145           | 78                               |
| 合計                 | 19,822        | 10,936                           | 13,909        | 8,296                            |

**問 新たな竹田市独自の後継者確保に対する支援策は。**

設置整備については、過疎自立促進計画の中で事業要求している。

## 竹田市の後継者の確保について

**農政課長** 地域の担い手を確保するために、竹田市独自の支援策を検討している。認定農業者連絡協議会との意見交換会の内容等を国・県などの施策とも照らし合わせながら、竹田市独自の支援策を検討する。

**商工観光課長** 家業を活かす第2創業プランを応援する国の補助金が300万円を上限として、その3分の2を助成する事業があり、計画書を作成したところである。新たに起業

する場合は「竹田市起業家育成支援事業補助金」や国の「創業促進補助金」がある。大分県事業引き継ぎ支援センターがあり、この公的な支援機関を活用して計画的な事業継承への取組を推進する。

**問 一定の基準を作り、竹田市民となつたら祝い金等を支給しては。**

**市長** 政策立案は現場の声の中にある。皆さんのがんの声を政策としてどのように反映するのか重点を置き取り組む。後継者確保のため、前向きに具体的な政策、戦略を示すように調査研究する。



### 中心市街地活性化について

**問 電線類無電柱化事業の目的と計画は。**

**建設課長** 竹田地区都市再生計画の中でも城下町の景観や生活・交通環境の維持向上、災害時の電柱倒壊防止策を目的とする。国の社会



▲無電柱化が計画されている本町通り

### 農地中間管理機構について

**問 農地バンクの実績を伺う。**

**農政課長** 平成27年8月末で、農地中間管理機構を通じて貸与された実績は久住地区2・6ヘクタール。本年12月末には市内7地区89・9ヘクタールが予定されている。

**問 現状の課題と今後の取組みを聞く。**

**農政課長** 竹田市は中山間地域に農地が多く、また遊休農地が点在しており農地の集積が難しい。相続登記の未整理等の課題もある。今後は、農地の出し手だけでなく受け手にも適応される交付金を活用し、事業を進めたい。

### 文化会館再建計画について

**問 設計規模について、提案座席数の根拠は。**

**生涯学習課長** 市民アンケートの結果や、現施設は1000席で満席にならぬこと等を考慮し、700～800席を提案した。

その他、文化会館の設計コンセプトと建設予算について質問をした。

### 山村 英治



### 国営大野川上流土地改良事業について

**問 大蘇ダム漏水対策工事施工方法は、前回(平成24年9月説明)と今回とではどのような違いがあるか。**

**農林整備課長** 前回の説明では池底の漏水対策が遮水シート工法であったが、平成24年水害で大量の土砂が堆積したため、貯水量を確保できる土砂を取り出して、最大で4メートルの厚さの土質ブランケット工法とした。堰堤から1000メートル地点より上流は、コンクリート打設工法を計画している。

**問 試験湛水の方法で違いはあるか。**

**農林整備課長** 前回の説明では工期を平成29年までとして、平成30～31年を試験湛水にしていたが、水害で堆積した土砂を撤去するため工期を平成30年までとして、毎年水位低下の確認をしながら、試験湛水は平成

31年の1年間としている。

**問 大蘇用水利による農業戦略の取組の現状はどうか。**

**農林整備課長** 国、県、市、JA、地元土地改良区による竹田市西部地区営農振興協議会の再立ち上げ、先端技術を拡げるために、畑灌マイスター制度の創設、利用集積に応じた圃場の再整備、新規就農者への斡旋を通じて、計画的な生産による利益を生む大規模畑灌溉地帯をつくり出していく。

### 新文化会館建設と管理について

**問 キリストの祈りを伝道した宣教師とその遺跡、音楽史において大きな功績を残した瀧廉太郎、現在、国際的に活躍している安藤宏子さんの豊後絞りなど、新しい文化会館にどう表現していくのか。**

**市長**

建築家の磯崎新、坂(ばん)茂さんとの対談で、世界に誇れるものが竹田にはあると語られた。田能村竹田の紹介、新たな瀧廉太郎のモニュメントを声楽コンクールに訪れる方に見せること、安藤宏子さんの集めた絞りを世界に向けて発信することができれば、文化会館の大きな力になる。



▶解体工事が始まつた文化会館

**萩保育所の認定ことも園への移行と園舎新築について**

**問 今後のスケジュールはどうか。**

**社会福祉課長** 平成28年度に、幼保連携教育の認定こども園として、經營移管先の竹田市社会福祉協議会が設計、29年度に建築する。場所はグラウンドの一画を計画している。

### 農業政策と農村の再生について

**問 今後の竹田市の農業戦略は。**

**農政課長** TPPによる竹田市農業への影響は大、農地の団地化と組織的な経営を進め生産コストの低減を図る。一方で「米」中心から園芸・果樹・花卉などへの転換や6次産業化、ブランド化を目指す。

**問 ブランド化の状況は。**

**農政課長** 竹田市ならではの特產品、カボス・サフラン・ムラサキのブランド化を進める。さらに、トマト・椎茸・久住高原牛・米・スイートコーン・キャベツ・花卉などについても有力な產品なので、それぞれブランド化に向け生産量確保のための労働力確保、パッケージとロゴマークの開発、ブランド製品の認定制度の創設と公表、生産技術向上支援などに取り組む。

**問 薬用作物の推進は。**

**農政課長** 漢方薬や生薬は中国から

**佐田 啓一**



の原料供給が不安定になつていていため、漢方薬メーカーの要望もあり国内栽培の方向に動いている。竹田市ではサフランが既に健康食品メーカーと取引がされている。ムラサキは製薬会社が情報収集の段階で問い合わせ等があつてている。

竹田市の薬用作物の推進は気象、標高差など様々な条件からしても有望であり、研究・推進していきたい。

竹田市の薬用作物の推進は気象、標高差など様々な条件からしても有望であり、研究・推進していきたい。

**問 沖縄県のIT企業との連携は。**

**農政課長** 5月25日、株式会社ルツチミン市との物産交流や観光客誘致の促進に尽力いただいている。今後の連携・交流について協議検討していきたい。

### 竹田市のまちづくりについて

**問 合併後、数々のまちづくり計画が策定されたが、その意義と達成度は。**

**企画情報課長** 多分野にわたり31の計画やビジョンを策定している。

各課が施策推進のため、方針や目標を掲げて取り組む指標としている。

達成度については、客観的な指標

をもつて、現状分析と検証を主管課

が行うこととしている。

その他、「竹田市版総合戦略・人口ビジョン」等について質問した。

## 鷺司 英彰



### 「地域医療構想」における病床数の削減について

**問 病院の病床数の削減計画が示された。計画の概略の説明を求める。**

**保健健康課長** 地域医療構想とは、医療計画の中に定める病床機能の分化や連携を推進するための医療提供体制に関する構想である。豊肥医療圏では914病床がある。2025年には、人口の動態からその必要数は608病床であると推計される。

**問 この計画が竹田市にどのような影響を与えるか。**

**保健健康課長** 病気が軽度の場合、自宅療養が増える。そのことから、独

居世帯や高齢者夫婦が増え、そいつた方々の精神的また肉体的な不安が増すことが予想される。また病院の経営にも影響を及ぼす。



▲まちづくりたけた株式会社(アグル)の新事務所開所式

## 設立の目的とその効果は。

**副市長** 定款上の目的は35項目に及ぶが、本来の目的は民間事業としてすべきことを着実に進め、中心市街地を元気にしていくことである。

**問 市からの出資3000万円の根拠と現在の状況はどうか。**

**副市長** 県内他市の状況や業務内容と比較して3000万円となつた。古町の旧日本生命ビルを購入し、そこに事務所を構えた。今後の経営は、仮に資金等に不足が生じても、まちづくり会社で検討し対応していく。

**問 中期財政状況を見た上で、市の現状と今後の方針はどうか。**

**財政課長** 26年度決算で経常収支比率は87.3%、公債費も合併当時と比べ約60億円減少し約167億円、基金も約99億円となつてている。

行財政改革による歳出削減が効果を生み出している。今後は、合併算定替え、公共施設の整備、既存施設の維持補修等の増大など、後年度の負担軽減に備え、施設の統合や民営化など、民間ができることの更なる洗い出しをし、経費節減に努めている。

**問 阿蘇中岳の噴火警戒レベルは2のままだが、今後の大規模噴火についてはどうのように考えているのか。**

**農政課長** 沈静化の状況ではあるが、噴火の予測は困難であるため、火山情報には注意が必要である。



▲9月14日に噴火し、警戒レベルが3に引き上げられた。  
出典:阿蘇山の火山活動解説資料(気象庁ホームページより)

## 渡辺 克己



### 農業問題について

**問 菅生地区についての被覆材・洗浄機械の補助実績と露地野菜の作付け実績についてどうか。**

**農政課長** 露地野菜の被覆資材は県単分が13件930万円、市単は10件の85万円である。作付け状況は例年のレタス50%、キャベツ40%、白菜20%であり、作付け残面積の50%がスイートコーンとなる。

**問 作付けできなかつた部分は降灰による被害と考えるが、その試算は。**

**農政課長** 作付け50%として被害額は6000万円と試算する。

**問 小康を保つこの時期にこそ降灰対策を考えるべきではないか。3月定例会答弁で県に要望の降灰対策項目の結果についてはどうなのか。**

**農政課長** ①野菜価格安定制度の創設、②低利経営資金の創設、③生活支援資金の創設、④露地野菜の代替品目の試験と普及、⑤防災営農施設整備計画の早期策定と対象地域指定の対応

**農政課長** ①～③については創設されていない。④は根菜類を中心に試験の必要のない作付け実績がある品目を推進している。⑤は竹田市と豊後大野市が対象地域指定となつた。

**問 新規就農、高齢化の中の農作業事故についての対応は。**

**農政課長** 色々な機会を通じて注意を喚起している。基本的には自己責

任である。

**問 農業者の厚生労働省「農業労災保険制度」の特別加入制度の取組は。**

**農政課長** 農業者の事務組合はない市で行っているが、加入者の増加は少ないので現状。今後は希望者の把握に努める。

**問 農業者の事務組合設置しか加入できない。市で対応を考えるべきでは。**

**市長** 豊後大野市での加入が少ない。農業者の要望により考えていくたい。その他、市道の老朽化に対しての質問を行つた。

**問 学校と地域の関係はなくてはならないと評価し、また、今後どう関わるのか。**

**教育総務課長** 学校を地区の中心に据え、学校の環境美化、体験学習、地区との合同運動会、交通指導などを通じ、地区的地域力、教育力により地区の子どもとして、温かく、そして厳しく育まれている。礼儀正しさ、言葉遣い、学力に如実に現れていると感じている。今後も、学校を地域コミュニケーションの中心とし、地域愛と誇りを注ぎ続ける関係の継続を図つていただき。地域の課題解決に向け、学校と地域が相互に連携する体制を整えたい。

**問 不審者等の声かけを含めて、安震工事が完了すれば、耐震化率は100%になる。年明けに着工予定で、老朽化した屋根や外壁の改修も併せて実施する。**

**問 学校と地域の関係はなくてはならないと評価し、また、今後どう関わるのか。**

**教育総務課長** 学校を地区の中心に据え、学校の環境美化、体験学習、地区との合同運動会、交通指導などを通じ、地区的地域力、教育力により地区の子どもとして、温かく、そして厳しく育まれている。礼儀正しさ、言葉遣い、学力に如実に現れていると感じている。今後も、学校を地域コミュニケーションの中心とし、地域愛と誇りを注ぎ続ける関係の継続を図つていただき。地域の課題解決に向け、学校と地域が相互に連携する体制を整えたい。

**問 不審者等の声かけを含めて、安震工事が完了すれば、耐震化率は100%になる。年明けに着工予定で、老朽化した屋根や外壁の改修も併せて実施する。**

**問 全対策は、また、未然防止策は。**

**学校教育課長** 平成26年中の事案は5件発生し、子ども達はきちんと対処でき、大事に至らなかつた。子ども達が安心して生きていける生活の基盤づくりは、学校・家庭・地域、更に警察や関係行政機関との連携が不可欠で、「竹田市教育推進連絡協議会」はじめ各種協議会の中で、子ども達を取り巻く実態の理解と協力をお願いしたい。

**問 その他、空き家対策について質問しました。**

**問 菅生地区についての被覆材・洗浄機械の補助実績と露地野菜の作付け実績についてどうか。**

**農政課長** 露地野菜の被覆資材は県単分が13件930万円、市単は10件の85万円である。作付け状況は例年のレタス50%、キャベツ40%、白菜20%であり、作付け残面積の50%がスイートコーンとなる。

**問 作付けできなかつた部分は降灰による被害と考えるが、その試算は。**

**農政課長** 作付け50%として被害額は6000万円と試算する。

**問 小康を保つこの時期にこそ降灰対策を考えるべきではないか。3月定例会答弁で県に要望の降灰対策項目の結果についてはどうなのか。**

**農政課長** ①野菜価格安定制度の創設、②低利経営資金の創設、③生活支援資金の創設、④露地野菜の代替品目の試験と普及、⑤防災営農施設整備計画の早期策定と対象地域指定の対応

**農政課長** ①～③については創設されていない。④は根菜類を中心に試験の必要のない作付け実績がある品目を推進している。⑤は竹田市と豊後大野市が対象地域指定となつた。

**問 新規就農、高齢化の中の農作業事故についての対応は。**

**農政課長** 色々な機会を通じて注意を喚起している。基本的には自己責

**問 学校施設の安心安全と地域コミュニケーションについて**

**森 哲秀**



**問 将来、施設を地区の財産として、また、地域活動の拠点として利用してはどうか。**

**教育総務課長** 城原小学校の耐震工事を実施することにより、建物は長寿命化される。今後、仮に廃校となつた場合にも、校舎跡は地区財産として有効に機能することが可能となる。地区の合意があれば、地区館機能の移転や複合施設型の利用をすることにより、地区の拠点施設として、機能することが期待される。



▲耐震工事を実施する城原小学校

# 行政視察報告 社会文教常任委員会

委員長 阿部 雅彦

去る7月7日～9日にかけて、本年度の行政視察を実施した。今回の研修目的と内容、視察先について報告する。

まず、障がい者の支援に対する取組について、愛知県名古屋市障がい者雇用支援センターにおける現場の取組を視察した。本センターの主な事業は、「就労移行支援事業」「障がい者就業・生活支援事業」の二つを柱とした取組である。障がい者が企業に就職することができれば、最低賃金の保障があり、働く本人としては夢や希望を抱いて、仕事に精を出すことができる素晴らしい取組であり、大変参考になった。

次に、ICT教育の取組について、岐阜県美濃加茂市の取組を視察した。ここでは、3年前より5か年計画で、小・中学校の全校に児童生徒用及び教師用タブレット



▲愛知県 長久手市

次に、今回、竹田市の文化会館の設計を担当する香山寿夫建築研究所が手掛けた二つの文化会館を視察した。岐阜県可児市の「文化創造センター・アーラ」と愛知県長久手市の「文化の家」である。どちらの建物も予算規模が竹田市よりも大きいこともあるが、音響や大ホール等の施設・設備とともに素晴らしいものであった。この文化会館の視察で印象に残ったのは、可児市文化創造センターの館長を務める衛紀生氏の経営理念のお話であった。

大分市のホルトホールでも講演をされたことのある衛館長が、おいては、タブレット端末の導入には至っていないが、購入費や

端末を導入している。目的は、確かな学力を身に付けさせるための一つの方法としている。必要な経費については、1校当たり700

～900万円（児童生徒数の違いによる）・保守点検及び修繕費に年間50万円を要している。竹田市

劇場から一番遠くにある市民に、

保守管理費等の予算確保もさることながら、各学年の教育課程の中で、各教科のどの授業場面で活用し、どのような効果が望めるのか、十分な研究・検討が必要であると感じた。

次に、今回、竹田市の文化会館の設計を担当する香山寿夫建築研究所が手掛けた二つの文化会館を視察した。「全ての市民にとつて温かみのある場所・地域にとつて必要とされる劇場」となることを目指していく大きさを学ぶことでのべき有意義な研修となつた。

また、「日本一の福祉のまちづくり」について、愛知県長久手市の取組を研修した。



▲岐阜県 可児市 「文化創造センター・アーラ」

劇場の果実を届けることが大切であること。」であった。これから建設される竹田市文化会館が、

「全ての市民にとつて温かみのある場所・地域にとつて必要とされる劇場」となることを目指していく大きさを学ぶことでのべき有意義な研修となつた。

# 竹田市議会からのお知らせです

## 市議会会議規則を改正し、欠席理由に「出産」を明示

平成27年竹田市議会9月定例会(9月25日)において、議員提出議案として提出された「竹田市議会会議規則の一部改正について」が全員賛成で可決されました。

その内容は、地方議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進する必要があることから、女性議員が活躍できる環境を整備するため、竹田市議会会議規則を一部改正し、議会を欠席する際の届出の条項に、「出産」を理由とする項を追加したものです。

## 鳥獣被害対策の強化に関する提言書を市長に提出

昨今の厳しい農業情勢の中、追い打ちをかけるように、猪・鹿・小動物による被害が拡大しています。市議会として、鳥獣被害対策を喫緊の課題と捉え、早急に対策強化を行うよう、9月25日、以下の6点を明記した提言書を市長に提出いたしました。

1. 捕獲報奨金を通年で支払う制度とし、小動物も対象とする。
2. 捕獲報奨金の報奨額を増額する。
3. 狩猟税(県税)免除の拡大を県に要請する。[現在1/2軽減]
4. 竹田市・高森町・高千穂町の3自治体で特区申請を行い狩猟税の免除を行う。
5. アライグマなど小動物による被害対策として市民に箱わなを貸し出す。(市が箱わなを購入し安全講習の受講を条件に、住民に箱わなを無料で貸し出す。その設置方法については行政がサポートする。)
6. 捕獲した害獣の処分の方法についても検討を。



| 開催日時                    | 会場        | 対象地域              |
|-------------------------|-----------|-------------------|
| 11月11日(水)<br>午後7時～8時30分 | 明治分館      | 竹田東部(竹田、岡本、明治、豊岡) |
|                         | 松本分館      | 竹田西部(玉来、松本、菅生)    |
|                         | 文化財管理センター | 竹田北部(宮城、城原)       |
| 11月12日(木)<br>午後7時～8時30分 | 荻公民館      | 荻地域               |
|                         | 久住公民館     | 久住地域              |
|                         | 直入支所大会議室  | 直入地域              |
| 11月13日(金)<br>午後7時～8時30分 | 入田分館      | 竹田南部(入田、嫗岳、宮砥)    |

# 『県民体育大会』結果報告

議員陸上監督 坂梨 宏之進

竹田市議会の400mリレー選手は、ここ数年でずいぶん横周りに大きく育つた。1番走者の阿部議員はその体を大きく見せて、他の選手を圧倒し、2番走者の筋肉隆々の疲れを知らない鷺司議員にバトンを渡す。3番走者は紅一点の佐藤議員。他の選手が油断をしている間に颯爽と走り抜けた。

4番走者は、我が竹田市議会一番の俊足の持ち主徳永議員。なんと二  
人抜き去り堂々の4位だ。

大分県下18市町村中の4位だから大したもんだ。今年もチームワークの勝利だ。



▲佐藤議員のバトンを受け、疾走する  
アンカー 徳永議員

議員ソフトボール監督 後藤 憲幸

県民体育大会議員ソフトボールは、別府市野口原の会場で行われた。相手は中津市、竹田市が先行で1回の表8点を入れ、優位な流れで進められた。しかし、その後相手側のヒットが続き、流れは変わった。今年は負傷者も多く、本來の力が発揮できなかつた事も一つの要因と思う。以前の大会では決勝まで進んだ事もあつたが、勝負の流れには勝てなかつた。しかし、竹田市の議員一致団結しての試合ができた事は喜ばしい。来年は上位を目指して頑張りたい。



▲先制のタイムリーヒットを放つ本田議員



## 市議会ホームページ HP

本議会の会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。

竹田市議会 議会事務局  
TAKETA SHI CITY COUNCIL

トップ 概要 正副議長 議員紹介 議会日程 会議録 請願と陳情 事務局

議会日程のお知らせ

- 議会日程 2014年6月1日 平成26年3月定期会の開催日について
- 議会日程 2014年1月1日 平成26年12月定期会の開催日について
- 議会日程 2014年6月1日 平成26年6月定期会の開催日について
- 議会日程 2014年6月1日 平成26年9月定期会の開催日について
- 議会日程 2014年6月1日 平成26年12月定期会の開催日について

竹田市議会 検索 <http://www.city.taketa.jp/gikai/>

月日の経つのは早い。田植えが終わつたと思ったのにもう稲刈りである。「年を取ると時間の経つのが早い」と、先輩方が話していたのを実感する。自分は、この半年間何をしてきたのだろーと振り返つてみると、確かに多くの行事に参加している。そのことはとても大事なことであると思う。しかし一方で、自分の足元をしっかりと見つめていくことも忘れてはならない。それにもしても、時間の経つのは早い。竹田市の将来を見つめ、自分のできることをしっかりと考えて行きたい。

編集委員 鶩司 英彰